

# 神林地区各町会の行事

5月から7月にかけて神林地区の各町会で様々な催しが行われました。マレットゴルフ大会、自主防災訓練、球技大会など。それぞれの様子を各町会の館報編集委員が紹介します。



平成30年7月1日現在	総世帯数	1,872世帯
総人口	4,742人	
男	2,299人	
女	2,443人	

## 川西町会 農休み

恒例の川西農休みが7月1日(日)、に行われました。マレットゴルフ大会に若いも若きも子供も参加し組合せ抽選後スタート。晴天の中優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。

その後、川西公民館にて、消防署職員による人命救助やAEDの使い方などの講習を行い、最後に焼肉大会でさらに親睦を深めました。



## 川東町会 常会対抗球技大会

6月17日(日)、恒例の常会対抗球技大会を開催しました。百瀬町会長の始球式で始まり、混合ソフトボール・グラウンドゴルフで老若男女汗を流しながら親睦を深めました。参加された皆さんお疲れさまでした。

- 優勝 北村
- 2位 東村
- 3位 南村
- 4位 南部



## 寺家町会

### 常会対抗球技大会

5月27日(日)、神林体育館及び農村広場で開催されました。グラウンドゴルフ、ニチレクボールと今年はラージボール卓球にかえてボーリングを行い、普段とは違うレーンに戸惑いながらも、声を掛け合いながら楽しくプレーをしました。気軽に参加できる大会で会場は終始歓声と笑顔が溢れていました。



## 南荒井町会 常会対抗マレットゴルフ大会

6月10日(日)、25チーム105名が参加して親睦を深めました。成績は次の通り。

- 優勝 1部
- 準優勝 10部
- 3位 3部



## 町神町会 パイナップルカフェ開催

5月22日(火)、町神公民館でパイナップルカフェが開催されました。公民館に入ると、琉球の音色が出迎えてくれました。自分の体調をチェックシートに記入し、薬膳スープを選びました。世話役の三島さんや町会の農村女性の皆さんが準備してくれ、大変美味しくいただきました。おしゃべりしたり、楽器の演奏に合わせて歌ったりしました。



## 下神町会

### マレットゴルフ大会

6月10日(日)、マレットゴルフ大会が信州スカイパークで開催され、各町会から2チーム、総勢51名の参加で熱戦を繰り広げました。今年はホルインワン賞がでませんでした。今年大きな歓声と笑顔で終始盛り上がり、プレーを楽しみながら親睦を深めました。優勝は北部常会でした。



## 梶海渡町会

### 自主防災訓練

7月8日(日)、防災訓練を行いました。大きな地震が発生した想定での避難訓練や消火栓からの放水訓練を行いました。また、芳川消防署職員の方々からは、救助のポイントやタシカの使い方などの講習会、簡単なタシカの作り方を教えていただきました。有意義な時間を過ごしました。



### 神林にこの人あり! 4

塚田 昌明さん (川西)

普段は山のある風景があたり前で、あえて興味を持たず日々を過ごしている人も多いことでしょう。

塚田昌明さんは57歳の時、信州百名山への挑戦を目標に掲げ、5年5ヶ月かけて達成。登頂の記録や写真⑤、「信州百名山」として出版されています。

2回に分けて寄稿を掲載します。

### 私と信州百名山

塚田 昌明

寄稿く前編く  
日本百名山の存在はTVの影響で多くの人が知っている。しかし、信州百名山の存在は、あまり知られていない。また、百名山であるから数は百座かという違いがあるのである。選定者によって、選ぶ人によって少しづつ違ってくる。百十六座位であると聞いたことがある。それ位信州には美しく登りたくなる山々があることになる。

私と親友は五十七歳の頃、時間と金銭的余裕がない為日本百名山の登破を見送り、清水栄一選定の信州百名山を目指した。目指すにあたり、本を出版する目標をかけた。先ずはカメラの調達から始めた。カメラを持っていない私は、女房が持っている五台のカメラの中から、一台をゲットし、登山を開始。登山日記をつけるのが苦手な為、一座毎に登頂日と写真と五七調の俳句のようなものを五句位入れ、アルバムを作成。本の原稿は二年後位から書き始めた。

百名山の中で一番良かった山は、奥裾花にある東山で、その途中からの堂津岳方面の景色。五月下旬の残雪と新緑、青空と白い雲、それに加え白樺の芽吹ききの赤。楽園を想像させてくれる景色に毎年訪れたい場所となった。く続くく



親友と一緒に蝶ヶ岳より槍ヶ岳方面 塚田 昌明さん (左)

### 神林の歴史を学ぶ講座

6月26日(火)、神林公民館で開催され24名が受講しました。

第1回は法燈国師について馬場家住宅窪田館長を講師に、生立ちや功績等について学びました。

法燈国師は承元元年(1207)に生まれたとされており、建長元年(1249)に宋へ渡り禅を学びながら、醤油、味噌の醸造法を習得しました。

大正2年(1913)に福應寺が法燈国師生誕地として指定されました。平成20年には法燈国師会が発足し普及・伝承を行っています。

地元の歴史を学び、先人の営みや土地の文化にふれ、地域を新発見することができました。



### 春の史跡めぐり 戸隠を訪ねる

5月9日(水)、50名が参加し行われました。天気が不安定でしたが、無事、奥社に参拝することができました。

祀られている九頭龍神は農業神で雨乞いのため、戦前には神林からも「お水種」をもらいに行つてたとか。また神林の生まれの法燈国師の母親が祈願した観音堂があるなど、神林とゆかりがあることなども学べていい経験でした。



### キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で10名に500円分の図書カードをプレゼント!締切は8月31日(金)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 ワールドカップ ○○○○  
【今回のキーワード】 ○○○○

## 鎖川

明治維新に活躍した英傑「西郷どん」の大河ドラマを楽しみに見ている▼260年余り続いた江戸幕府はペリーら黒船の来航により開国を迫られ、国難に直面していた。欧米列強の植民地主義や帝国主義に危機感を持ったのは薩摩・長州の藩士だった▼西郷隆盛は1868年、新政府軍の代表として徳川幕府を代表する勝海舟とひざ詰めで渡り合い、江戸城を新政府軍に明け渡し「無血革命」を実現した▼薩摩藩の下級武士の家系に生まれながら、藩主島津斉彬に取り立てられたものの主君が急逝。後継の島津久光との対立により二度の遠島を余儀なくされている。この絶望の淵から隆盛の死生感はやまされたときとされているのは大変興味深い▼「四民平等」、「万国対峙」の思想は「敬天愛人」の思想に継がっているとされる▼身を挺して近代国家を作ろうとした明治の志士に対し、平成の国政を直視するに森友・加計問題、更には官僚の付度や公文書の改ざん等、国と国民に思いを致す政治家がいつたいたのくらいいるのかと思うのは一人だけだろうか。